

建設業関連業界団体

まちなみを守るといふこと

一般社団法人 長崎県建築士会

会長 鉄川 進

新年あけましておめでとう
ごさいます。

旧年中は、長崎県建築士会

にさまざまにご厚誼を賜り、まことにありがとうございました。本年も変わらぬご指導賜りますようお願い申し上げます。

うな建築様式の材料や工法についての分野はなく、過去から引き継いだ建築を守る建築士は限定的である事実があります。このことは災害時に特に顕著な問題となりますが、これらの教訓から、全国各地の建築士会を中心に歴史的建造物の保守保全ができる建築士を養成する機運が生まれ、本会でも十年以上にわたって講習と認定を進めてきました。

活用に係わる枠組みとして、「歴史的建築物の活用に向けた条例整備ガイドライン」を提示し、建築基準法3条適用除外を積極的に活用するよう促しています。本会では、このような制度にも対応できる建築士の養成のため、今年度はさらにスキルアップした養成プログラムを実施しております。同時に、このような事業を支援するため、技術者や学識経験者や行政担当者に加えた歴史的建造物委員会を立ち上げました。また、歴史的建造物に詳しい技術者のいない自治体に対しては、建築士会による発注者支援も提案しています。

来年度より直面する労働環境基準の変更、そして25年度より発生する建築物省エネ法範囲拡大や4号特例廃止への対応は喫緊の課題です。特に後者に関しては、講習等による会員への支援や地域の建築文化を守るための気候風土適応住宅制度設立への協力等を行ってまいります。

本年も、建築士会活動へのご協力をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

「温室効果ガス排出削減」の実現を目指して

一般社団法人 長崎県建築士事務所協会

会長 木場 耕志

新年あけましておめでとう
ごさいます。

社会を混乱させた新型コロナウイルスは収束しつつありますが、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルとパレスチナ紛争、国内では物価の上昇、建設業界では資材の高騰等国内外の動きに注視せざるを得ません。

日本は「2050年にカーボンニュートラル」と「2030年温室効果ガス46%排出削減」を目指しています。温室効果ガスの吸収源を図る上でも、国の木材需要の約4割を占める建築分野における取り組みが求められています。一昨年6月には建築基準法、建築物省エネ法が改正され、順次施行されることが決まっております。

昨年は木材利用促進のため「ながさ木でつくる木造建築のすすめ」の冊子を刊行しました。本年は「長崎県産材サプライチェーン構築事業」として、建築主、建築士、施工者対象のセミナー、木造、木質化をアドバンスできる建築士の養成講習会をすすめてまいります。

又建築士の高齢化の中で立ち上げた次世代青年委員会は本年長崎県若手職員との意見交換会を開催させて頂き、継続できればと考えます。

今後とも一般社団法人としての社会貢献活動をはじめSDGsにおける様々な研究を建築の専門団体として進めていきたいと考えます。

最後に本年が皆様にとつて良い年となりますよう祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

このうち、国土交通省が

頼りになる建築家、頼りになるJIA

公益社団法人 日本建築家協会九州支部長崎地域会

長崎地域会長 鼻崎 象三

新年あけましておめでとう
ごさいます。昨年本会にご

理解・ご支援を頂きありがとうございました。コロナ感染症が、5類に移行され、本会の活動もコロナ禍前の水準に戻りつつあります。7月と12月にオンライン・パークガフニ先生、百枝優氏を招き、建築家セミナーを主催、共催しました。本年も3月1日に壁画家松井エイコ先生をお招

きし、セミナーを開催する予定です。建築家協会の全国大会も一昨年の沖縄大会に引き続き、昨年は11月19日〜21日に2023東海in常滑を開催しました。大会テーマは「環境（かえる）でした。さて2024年は、2010年北九州大会以来の九州、JIA建築家大会2024別府を開催いたします。11月28日〜30日、メイン会場を別府ビーコンプラザ（大分県大分市出身の故磯崎新氏設計）とし開催します。昨年大会実行委員会を立上げ、九州支部役員を中心に33名の実行委員を進めているところです。今回の大会テーマは「建築の未来」

です。（以降実行委員会資料から抜粋）「建築の伝統と未来は、互いに影響し合いながら進化していくものです。伝統や歴史から学びつつ、新しいテクノロジーやアイデアを取り入れ、環境に配慮した持続可能で豊かな社会のための建築を創造することが求められています。伝統的な文化やアイデンティティと最新の技術の融合を通じて、新たな表現方法やデザインが生まれる可能性があります。この大会は、近代建築の変化と共にこれからの社会にJIA建築家が如何に貢献できるかを探求します」皆様のご参加をお待ちしております。

日本建築家協会は、社会から信頼され公益的な設計活動を行う建築家を支援すること、より望ましい社会環境の実現をめざす職能団体として、「頼りになる建築家、頼りになるJIA」をスローガンとして掲げ活動しています。長崎地域会も「頼りになる建築家」を目指し活動しておりますので、これからも「理解・ご支援を頂きますよう、よろしくお願ひいたします。」

チャンスの年に

一般社団法人長崎県設備設計事務所協会

会長 永安久幸



新年明けましておめでとう
ございます。
謹んで新春のお慶びを申し
上げます。

一昨年にも勃発したロシアのウクライナ侵攻は、収まる気配も無いところに、パレスチナ・イスラエルの紛争が加わり、益々騒々しさを増した昨年1年間でした。国内でも、円安、物価高騰が、じわじわと私たちの生活を脅かし、コロナ禍の時と同じような、出口が見えない不安な気持ちにさせられる日々が続いてきました。この傾向は年が変わっても続くのだろうと推測します。さて、私も設備設計の業界に眼をやると、ここにも難問が横たわっています。事業継承と若年技術者不足の問題です。近年ずっと警鐘が鳴らされ続けてきた問題ではあるのですが、妙手が無く、数年後には、本協会の半数が引退するのではと予想できるくらいに、高齢化が進行しています。本協会が加入する（一社）日本設備設計事務所協会連合会 九州・沖縄ブロック協議会の昨年開催された「佐賀県大会において、本年度の各県協会統一テーマ、”次世代の担い手確保”が採択され、それに向け活動を開始したところですが、まず第一歩、協会員に本テーマの周知を図る（一）から始まり、かなり粘り強く取り組む必要がある活動になることは、間違いありません。いずれは誰かが取組まなければならぬ事項ですので、心して前向きに活動を進めてまいりたいと思っております。本年度開催予定の福岡県大会時に、成果発表ができるよう取り組みたいと思っております。また本年は2022年改正された建築基準法の実施2年目になります。来年には完全実施」となります。本年から、省エネ適合判定がほぼ全ての建物に適用されます。これらは、業務の複雑さや、増加に

令和6年新春のご挨拶

一般社団法人長崎県測量設計コンサルタント協会

会長 安部清美



新年明けましておめでとう
ございます。皆様におかれま
してはつつがなく新しい年を

お迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年、世界的に深刻な影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症の5類移行により、概ね平時の生活を取り戻すことができました。
測量・設計業界は、国土交通省や長崎県をはじめとした地方公共団体と連携しながら、インフラ整備や地域振興にも貢献する活動を続けてまいりました。特に、毎年のように繰り返される台風や豪雨災害に対しては、迅速な復旧・復興のための支援を行い社会的な役割を果たしました。支援活動に携わった会員の皆様に心から敬意と感謝を申し上げます。
一方、国際情勢は大きく変化しました。ウクライナへのロシアの侵攻に続きイスラエルとパレスチナの紛争など、世界の平和と安定が脅かされる事態が相次ぎました。これら世界的な問題は、食料や石油をはじめとしたあらゆる原材料の高騰につながり、日本にも大

『新年を迎えて』

一般社団法人日本補償コンサルタント協会九州支部長崎県部会

会長 鶴殿雅彦



新年、明けましておめでとう
ございます。
建設新聞を「愛読の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より当県部会の活動につきまして、格別のご理解とご高配を賜り厚く御礼申し上げます。昨年を振り返りますと、世界的には、一昨年に始まったロシアとウクライナの戦いが続いており、さらに昨年はパレスチナを事実支配するイスラム組織ハマスとイスラエルの戦いが始まり各国が大きな影響を被っています。日本においても物価高、円安の影響を受け、ガソリンを筆頭に全体的に高くなり続けている状況です。

さて、私も補償コンサルタントは、公共用地の取得に伴う損失補償という側面から公共事業の実施の一端を担うものとして、社会資本の整備に積極的に関わらせて頂いております。自然災害が頻発する昨今、私たちが安全で安心な生活、快適でゆとりある生活を営むためには、現状の社会資本の整備状況ではまだまだ不十分といわれています。ますます複雑化する損失補償の世界で皆様のご期待に沿えるよう、私たち協会会員は技術研修会、会員相互の情報交換、上部団体からの情報提供を通じて、弛まぬ技術者の資質の向上、技術力の研鑽を続けていきます。

新年を迎え、新たな気持ちで社会資本の整備等公共事業の推進に一層お役に立てるよう、日々、技術力を研鑽して参りたいと思っております。
今年も、当県部会会員をより一層ご活用頂きますようお願い申し上げます。この一年も皆様にとって素敵な年となりますようお祈り申し上げます。

県内に目を向けますと、長崎駅を中心とした大規模な再開発が目に見える形になりつつあり、「長崎スタジアムシティ」プロジェクトと相まって県内経済浮揚の期待が寄せられています。

アクションプランの着実な実現へ 建設業の魅力を広く発信

一般社団法人長崎県建設業協会

会長 根 眞悟



明けましておめでとうござ
います。皆様方には健やかに
新年をお迎えのこととお慶び
申し上げます。

最近の県内建設業界は、国
土強靱化の加速化対策などに
より一定の予算は確保されて
おりますが、就業者の高齢化
若手入職者の低迷、この春か
ら実施される時間外労働の上
限規制など多くの課題を抱え
ており、このような課題を克
服するため、初任給など給与
水準の改善、完全4週8休制
の実施、ICT/DXの推進
による働き方改革、さらには
女性活躍の推進などに取り組
んでいるところです。しかし、

これらの取組みを進めるため
には投資が必要で、業界の取
組みだけでは限界があり、昨
年2月、大石知事はじめ県当
局のご理解を得て県発注工事
の最低制限価格の引き上げを
実現していただきました。

私も、これらの取組み
をアクションプランとして着
実に実現していかなければな
りませんが、このためには、
建設業の魅力を広く発信し、
建設業に対する県民皆様の理
解を深めていただくことが重
要です。

昨年はず、協会ホームペ
ージの抜本的な改善に取り組
みました。現在は会員企業が
閲覧できるコンテンツや国・
県・関係団体の情報も著しく
増加しています。11月には、
県立工業高校とも連携協定を
締結いたしました。協会青年
部が中心となつて高校関係者
とも意見交換を行い、高校の
実習カリキュラムの改善、高
校生の理解促進のための出前
講座（民間講師授業）や建設
業での有償型インターンシッ
プ（アルバイト）の導入など
にも取り組んでまいります。

先に述べた課題のほかに
も、建設業は、自然災害や家
畜伝染病に対する防災・防疫
支援活動という大きな社会的
使命も担っています。これら
の課題にしっかりと対応する
には、協会会員の増加が必要
です。協会会員であることの
メリットを増やし、協会がよ
り結束を高められるよう、発
注者にも働きかけを行ってい
てまいります。

本年が皆様方にとりまして
新しい未来の展望が開ける年
となるよう祈念いたしまして
年頭のご挨拶とさせていただきます。

今年も、協会に関わる多く
の方々や報道各位のご支援・
ご協力をいたたくとも、
皆様方の豊富な識見・経験を
伺いながら、本県の建設業、
ひいては九州全体の建設業が
着実に発展していけるよう、
努力してまいります。

持続可能な建設業を目指して

一般社団法人長崎県建設業協会大村支部

支部長 富永 政巳



新年を迎え、謹んで年頭の
ご挨拶を申し上げます。
現在、建設業界はインフレ

による建設資材の高騰と、慢
性的な人手不足に見舞われて
います。建設資材の高騰に関
しては、公共工事に於いては、
タイムリーな設計単価の変更
等が行われ、ある程度緩和さ
れていますが、民間工事に於
いては、発注者の予算に限度
があり、私達の受注単価に反
映できない厳しい状況が続い
ています。

また、今年4月から時間外
労働の上限規制が建設業界に
も適用されるようになり、人
手不足に益々拍車がかかるも
のと思われまます。

しかし他の産業に比較し
て、従業員の高齢化が著しい
建設業界は、これを乗り越え
なくては、若い人の入職が進
まず近い将来、業界自体の存
亡にかかわってくると思われ
ます。

上限規制の適用は、工期の
長期化、労務単価の上昇に繋
がり、建設業界としても仕事
の効率化に努めなければなら
ませんが、業界だけの自助努
力では限度があり、発注者に
よる工期長期化、労務単価の

改正が必要と思えます。
建設業は社会のインフラを
作るという従来の役割に加
え、最近では地球温暖化によ
る台風や集中豪雨の巨大化に
よる自然災害が多発し、鳥イン
フル等も発生し、災害対応も
従来以上に求められ、安全安
心な暮らしのために、建設業
の必要性がたかくなっている
と思えます。また、建設業は
関連する業界も含めれば、以
前よりは減少しましたが、地
方経済では、まだその占める
割合は大きいと思えます。

今後共、関係各位のご支援
とご協力をよろしくお願い申し
上げます。

最後に皆様にとりまして、
本年がすばらしい年になりま
すよう心より祈念いたしまし
て新年のご挨拶といたしま
す。

ご安全に！

建設業労働災害防止協会長崎県支部

支部長 谷村 隆三



新年のご挨拶を申し上げま
す。

建設業労働災害防止協会
は、「人命尊重」という気高
い理念を掲げ、長年にわたり
業界の自主的な労働災害防止
活動を進めてきました。その
結果、建設業における労働災
害・死亡災害を大きく減らす
ことができました。しかし残
念ながら、いまもって事故が
発生しているのは事実であ
り、一層の安全衛生活動を進
める必要があります。

建設業が我が国の基幹産業
として、今後とも健全な発展
を続けていくためには、業界
並びに各企業の安全衛生水準
を一層高め、誰もが誇りを持
つて安心して働くことができ
る先進的な職場環境を整え、
入職者を増やしていかなけれ
ばなりません。

建設業が将来に向けて、安
定的に発展していくためには、
建設投資の中で4割を占める
公共投資の役割が、特に地方
の場合は非常に大きいと思
います。

今後共、関係各位のご支援
とご協力をよろしくお願い申し
上げます。

現在建設業の置かれている
環境は災害復旧と防災減災、

建設業が将来に向けて、安
定的に発展していくためには、
建設投資の中で4割を占める
公共投資の役割が、特に地方
の場合は非常に大きいと思
います。

今後共、関係各位のご支援
とご協力をよろしくお願い申し
上げます。

現在建設業の置かれている
環境は災害復旧と防災減災、

魅力度アップで 若者から選ばれる職業に！

一般社団法人 長崎県建設業協会 長崎支部

支部長 川島邦元



皆様方には健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。新型コロナウイルスも昨年5月に5類となり、今回は制限もなく久しぶりに穏やかな年末年始を過ごされたことかと存じます。

令和6年の輝かしい新春を迎え、年頭のご挨拶を申し上げます。

さて、昨今の国内経済へ目を向けると、ウクライナや中東情勢が終息の兆しを見せない中、円安は進み食品をはじめ

めエネルギー等々の物価高が家計を直撃し厳しい生活環境となっており、政府は昨年未経済対策を策定し、「物価高」・「持続的賃上げと地方の成長」・「成長強化と投資促進」・「人口減少」・「国民の安全安心」の5本柱で対策を構成されました。定額減税が目玉となつていますが、実施が6月頃であり物価高が続く中、遅きに失することが懸念されます。今年も春闘が始まりますが、生活の安定に繋がるよう良い結果が出て物価高を克服できるようなベアスになればと願っております。

当地長崎市の現況としては、100年に一度の街の大きな変革も着々と進み、一昨年の新幹線開業に続き昨年11月には新駅ビル（アミュプラザ新館）も開業いたしました。そして今年には長崎スタジアムシティの開業と、毎年毎年何か新しいものが増えていくという期待が心をワクワクさせてくれます。長崎も時代の先端を行く街になつてきたなど感慨に浸る反面、この街を活かさないとほんとにもつたいな

と、ふるさとの活性化を目指し地元経済界はじめ我々市民も大いに街の良さを全国の人に発信し、国内外の多くの方々に来崎していただきたいものです。

このような街づくりにしても私共建設業が大きく関係、処遇改善を図りモノづく

とができました。強風の中、たくさんの方々にご参加いただき、支部のPRはもとより、土木・建設業への親しみと関心をお願いしていただけたものと思っております。特に大型建設機械に試乗した幼児、小学生の目を輝かせた笑顔に、この子たちの将来に思いを馳せ、イベントを開催できて良かったとつくづく思いました。今年には日本が明る

い話題に溢れることを期待するばかりです。

一方、世界ではロシアによるウクライナへの侵攻が始まってまもなく2年となり、中東でもイスラエルとハマスの戦闘が始まるなど不安定な情

勢が続いています。無慈悲な戦争によって多くの尊い人命が失われることに心が痛みます。また、この不安定な世界情勢は原油価格を始めとする物価高を招き、原材料の多くを輸入に依存する我が国の経済に深刻な問題をもたらしています。資材等の高騰は建設業を直撃し、経営は一段と厳しさを増しています。一刻も早い戦争の終結と恒久平和を願わざるを得ません。

県史諫早では、50年に一度と言われた西九州新幹線関連事業や諫早外環状線などの大型事業はほぼ終了しましたが、今年には本明川ダムの本体工事が着工される予定です。

与しているわけですが、ご承知のとおり今年4月から時間外労働上限規制の猶予措置が切れ適用を受けることとなります。時短工事は難しくなり、法定労働時間に則り余裕を持った工期での施工となりま

す。既に公共工事ではそれを見据え実践してきたわけですが、民間においても法適用の実情をご理解いただき適切な発注をお願いすべく施主に啓蒙しなければなりません。

地元建設業界でも、近年継続的に人手不足が続いています。材料と機械と肝心な人（技術者・技能者）が揃わないとモノはできません。何とか人口の転出超過に歯止めをかけ、処遇改善を図りモノづく

建設業ならではの魅力発信 新3Kの実践で若者獲得

一般社団法人 長崎県建設業協会 諫早支部

支部長 中嶋一也



えのこととお慶び申し上げます。

ここ数年連続してきた新型コロナウイルス感染症の猛威もようやく落ち着き、昨年5月の第5類への移行により私たちの日常生活に活気が戻つてまいりました。支部の一大行事である「土木の日イベント」も昨年は土木の日の11月18日に4年ぶりに開催するこ

とができました。強風の中、たくさんの方々にご参加いただき、支部のPRはもとより、土木・建設業への親しみと関心をお願いしていただけたものと思っております。特に大型建設機械に試乗した幼児、小学生の目を輝かせた笑顔に、この子たちの将来に思いを馳せ、イベントを開催できて良かったとつくづく思いました。今年には日本が明るい話題に溢れることを期待するばかりです。

一方、世界ではロシアによるウクライナへの侵攻が始まってまもなく2年となり、中東でもイスラエルとハマスの戦闘が始まるなど不安定な情

勢が続いています。無慈悲な戦争によって多くの尊い人命が失われることに心が痛みます。また、この不安定な世界情勢は原油価格を始めとする物価高を招き、原材料の多くを輸入に依存する我が国の経済に深刻な問題をもたらしています。資材等の高騰は建設業を直撃し、経営は一段と厳しさを増しています。一刻も早い戦争の終結と恒久平和を願わざるを得ません。

県史諫早では、50年に一度と言われた西九州新幹線関連事業や諫早外環状線などの大型事業はほぼ終了しましたが、今年には本明川ダムの本体工事が着工される予定です。

与しているわけですが、ご承知のとおり今年4月から時間外労働上限規制の猶予措置が切れ適用を受けることとなります。時短工事は難しくなり、法定労働時間に則り余裕を持った工期での施工となりま

す。既に公共工事ではそれを見据え実践してきたわけですが、民間においても法適用の実情をご理解いただき適切な発注をお願いすべく施主に啓蒙しなければなりません。

地元建設業界でも、近年継続的に人手不足が続いています。材料と機械と肝心な人（技術者・技能者）が揃わないとモノはできません。何とか人口の転出超過に歯止めをかけ、処遇改善を図りモノづく

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春を健やかにお迎

えのこととお慶び申し上げます。

ここ数年連続してきた新型コロナウイルス感染症の猛威もようやく落ち着き、昨年5月の第5類への移行により私たちの日常生活に活気が戻つてまいりました。支部の一大

行事である「土木の日イベント」も昨年は土木の日の11月18日に4年ぶりに開催するこ

とができました。強風の中、たくさんの方々にご参加いただき、支部のPRはもとより、土木・建設業への親しみと関心をお願いしていただけたものと思っております。特に大型建設機械に試乗した幼児、小学生の目を輝かせた笑顔に、この子たちの将来に思いを馳せ、イベントを開催できて良かったとつくづく思いました。今年には日本が明るい話題に溢れることを期待するばかりです。

一方、世界ではロシアによるウクライナへの侵攻が始まってまもなく2年となり、中東でもイスラエルとハマスの戦闘が始まるなど不安定な情

勢が続いています。無慈悲な戦争によって多くの尊い人命が失われることに心が痛みます。また、この不安定な世界情勢は原油価格を始めとする物価高を招き、原材料の多くを輸入に依存する我が国の経済に深刻な問題をもたらしています。資材等の高騰は建設業を直撃し、経営は一段と厳しさを増しています。一刻も早い戦争の終結と恒久平和を願わざるを得ません。

県史諫早では、50年に一度と言われた西九州新幹線関連事業や諫早外環状線などの大型事業はほぼ終了しましたが、今年には本明川ダムの本体工事が着工される予定です。

与しているわけですが、ご承知のとおり今年4月から時間外労働上限規制の猶予措置が切れ適用を受けることとなります。時短工事は難しくなり、法定労働時間に則り余裕を持った工期での施工となりま

春頌

本年が皆さまにとりまして
良き年となるようお祈り申し上げます



魅力ある建設業の実現に向けて

一般社団法人長崎県建設業協会五島支部
支部長 浜田 哲男



謹んで新春のお慶びを申し上げます。
新型コロナウイルス感染症の5類移

行を受け、久しぶりに家族揃ってのお正月を迎えられた方も多いことかと存じますが、新たな令和6年が皆様一人ひとりにとって希望に満ちた飛躍の年となることを心から願っています。

さて、昨年は全く終息の兆しが見えないロシアのウクライナ侵攻やイスラエルによる突然のガザ地区侵攻、さらに

北朝鮮の度重なる弾道ミサイル発射実験など、我が国を取り巻く情勢もこれまでに大きく緊張が高まりました。今を生きる社会の一員として世界の平和と安定に向けて何ができるのかを考えさせられる一年ではなかったかと思えます。

また、想定を遙かに上回る円安によって食料品をはじめエネルギー価格の高騰など国民生活にも大きな打撃を受けましたが、私も建設業におきましても、生コンや各種建設資材の大幅な上昇など非常に厳しい企業経営を余儀なくされました。

さらに、地球温暖化に伴う気候変動は、台風の大規模化や局地的な集中豪雨の増加など毎年のように大規模な自然災害を発生させており、防災・減災対策の強化も求められています。

私も離島地区の建設業は、社会基盤の整備・拡充はもとより災害への迅速な対応など日頃から技術力の向上や万一の事態に備えた体制づくりに努めているところですが、職員の高齢化や若手人材の島外流出は確実に進行しており、ICT機器の導入による生産性の向上や技能実習制度を活用した外国人労働者の受入れなど、労働人口の減少を見据えた対応が喫緊の課題となっております。

さらに「働き方改革の推進」と思いますが、今後とも「も避けては通れない大きな課題」となっており、新規採用者を含めた職員給与の引上げや完全4週8休制の導入、職場環境の整備・改善などに努めているところです。

加えて、本年4月からは「物流の2024年問題」に代表される時間外労働時間の制限もスタートします。様々な課題を乗り越えながら若者や女性にも受け入れられる働き甲斐のある職場づくりに努めてまいりたいと思えます。

社会の変化に対応するとともに皆様方の期待に応えられるよう、魅力ある建設業の実現に向けて努力して参りたい

と努めます。

持続可能な建設業へ

一般社団法人長崎県港湾漁港建設業協会
会長 山口 雅二



新年あけましておめでとうございます。平素より皆様方には長崎県港湾漁港建設業協

会の活動に格別のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。新たな一年の幕開けを迎え、心よりお慶び申し上げます。

建設業界においては、新たな一年が始まるにあたり、様々な課題やチャレンジが待ち受けています。これまでの経験や困難を乗り越えながら、未来に向けてこれらに着実に

取り組んでいくことが求められています。

まず一つに、働き方改革の推進が挙げられます。建設業における働き方改革は、人材確保・定着、技術力の向上、安全性の向上など様々な面でポジティブな影響をもたらすことが期待されます。魅力的な建設業界が構築され、業界全体が発展していくはず

です。次に、労働力不足です。建設業界では、技術者や技能者の不足が深刻な問題となっており、これに対処するために人材の育成や新しい仕組みの導入が必要です。技術の進化に追いつき、新たな才能を

育てることが、業界の持続可能な発展に不可欠です。

また、環境への配慮や持続可能性の追求も大きなテーマです。建設工事においては、資源の有効活用やエネルギーの効率的な使用などが求められ、環境に優しい手法の採用が重要です。カーボンニュートラルや再生可能エネルギーの活用など、地球環境に配慮した建設が求められています。

さらに、デジタル技術の導入が進む中で、建設業界もこれに追随する必要があります。施工プロセスのデジタル化やIoTの活用によって、効率性の向上やリアルタイム

な情報共有が可能となり、これにより建設工事の進行管理が強化され、品質向上に寄与します。

新しい一年が始まる今、当協会はこれらの課題に果敢に取り組み、建設業界の未来を切り拓いていく決意です。技術の進歩、環境へのリスペクト、デジタル化の波に乗り、新たなスタンダードを確立していくことが、より良い未来への道を切り開く鍵となります。

この一年、皆様のお力添えと共に、建設業界がより持続可能で、効率的かつ革新的な方向に進化していくことを心より願っております。お互い

に学びあい、協力し合いながら、素晴らしい新しい年を共に築いていくことを楽しみにしております。

新年が皆様にとって、健康と幸福に満ちたものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。



次の10年へ 全ての会員団体の着実な発展を

長崎県建設産業団体連合会

会長 根々 眞悟



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

長崎県建設連は、平成25年に発足し、昨年10周年を迎え

超え、県内総生産の約8%を占めるたいへん重要な産業です。しかし、就業者の高齢化や若手入職者の低迷などによる担い手不足は待ったなしの重要課題となっております。このようなことから、私は昨年、建設連会員団体の結束力を高め、会員間の情報共有や意思疎通を円滑にし、政治的にもより強いものでなければならぬとの考えのもと、正会員25団体の全ての代表の皆様が理事又は監事に就任していただき、いつでも情報提供、意見交換ができる体制を構築しました。建設業に関わる全ての業界が、より連携を深めながら発展していかねばならないと考えておりま

す。一例として、建設業では、近年設計労務単価が大きく上昇していますが、これに比べ下請等の賃金上昇は緩やかです。その根本的な原因として、国の標準歩掛りが現場実態にそぐわないものとなっていることが大きく、歩掛りの改善や見積りの積極的採用などを国などに強く働きかけているところです。

いよいよ新年度からに迫った時間外労働規制の問題、建設技能者のキャリアアップの問題、そして担い手確保の問題など、依然として建設業界には多くの課題が山積しておりますが、何よりも、建設業が若者にとつて魅力あふれる持続可能な産業であり続けるこ

とが大切です。私も会長に就任して1年半、様々な改革に取り組みまいりました。本年1月には会員団体の多くの方々や県内各界各層のご来賓を迎え、会員団体相互の結束をさらに高めるために新年賀詞交歓会を初めて開催いたします。建設連の次の10年に向けて、建設業に携わる全ての会員団体が着実に発展していけるよう、これからも誠心誠意努力してまいります。本年が皆様方にとりまして輝かしい1年となりますよう祈念いたしまして年頭のご挨拶とさせていただきます。

働き方改革、 カーボンニュートラルを推進

一般社団法人長崎県ほ装協会

会長 中村 人久



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、新型コロナの5類

いても例外なく苦境に立たされてきたのが現状です。こうした若者減少社会において、スポーツや文化芸術面をはじめ各部門における若い世代の目を見張る活躍に、まだまだ日本は捨てたものじゃないと期待しています。このような中で、当協会はアスファルト合材協会と連携し、合材プラントの毎月第2土・日曜日の連続閉所をはじめ、会員それぞれ働き方改革に向けた取り組みを鋭意進めているところです。また、カーボンニュートラルの推進において、我が業界では中温化アスファルトの活用が期待され、かつ施工性も優れていることから行政の指導のもと取り組んでまいりたいと考えております。

ところで、公共事業予算に目を転じますと、昨年は国土形成計画が閣議決定され、人口減少による地方の危機や、巨大災害リスクなど直面する多くの課題が示され、こうした難局を乗り越えるためにも建設業の安定した存続が欠かせないものの一つと考えます。そういう意味で、昨年6月に国土強靱化基本法が改正され、実施計画の策定を法定化されたことは大変有意義なことであり、今後とも、その実効性を図る予算の確保に期待をしたいところです。

そして、私たち舗装専門業者としても、高度の技術力と自社施工体制を有する専門工事を能力を活かし、地域住民の安全・安心の確保、道路インフラの維持管理、災害・降雪時における初期活動等に迅速に対応する「地域の守り手」としての活動を続け、地域に密着した企業としての責務を果たして参りたいと存じます。

パリオリンピックでの日本の活躍を期待しながら、今年は明るい話題で満ち溢れ、皆様にのり安寧で実り多き年となりますようお祈り申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

設立50年に感謝

一般社団法人長崎県漁場整備開発協会

会長 柴田 久直



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

私も長崎県漁場整備開発協会及び当協会が設立したNPO法人ナガサキシーパラネ

ットは一体となつて、長崎県をはじめ関係機関や関係団体等と連携しながら、本県の豊かな漁場づくりと藻場回復のため、各種事業や活動に鋭意取り組んでおります。これらの取組にあたり、「浜の声を漁場整備に活かす」を基本方針の柱として、漁業協同組合への聞き取りも積極的に行い、活動を強化するとともに、長崎県のSDGs制度に登録し、「海の豊かさを守る」などの目標に向けての社会貢献の活動にも努めております。

昨年には、設立50年を迎えることができ、関係の皆様および会員など多くの方々にご参加を賜り、記念式典も開催させていただきました。これもひとえに皆様方の多大なるご支援、ご厚情の賜物と、心

から深く感謝申し上げます。現在及び今後の水産業を鑑みますと、ウクライナ情勢等に伴う燃油や資材などの価格高騰への対策、水産資源の回復対策、水温上昇等による漁場環境の変化への対応、とりわけその環境変化に対応した漁場整備や藻場回復への対策強化なども、一層重要性を増している課題と考えております。

こうした中、昨年度策定された国の「漁港漁場整備長期計画」(5年間)及び本県の「特定漁港漁場整備事業計画」(10年間)は、今後の漁場整備にかかる基本的な計画であるとともに、本県水産業の浮揚にかかる重要な政策であると考えております。

私も協会及びシーパラネットは、これら長期計画と上記の諸課題及び浜の声を踏まえつつ、本県の豊かな漁場づくりと水産業振興のための取組を、産学官民一体となつて積極的に推進していく所存でありますので、関係各位より一層のご指導・ご助言・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

本県水産業の益々のご繁栄をご祈念いたしまして、年頭のご挨拶にさせていただきます。

次世代担う新たな人材確保へ 関係団体と連携を密にし解決

長崎県管工事業協同組合連合会
理事長 岩永 堅之進



2024年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。旧年中は、当連合会並びに

当協会にご高配を賜り、心よりの感謝申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症は陰りが見えるも、依然として続くロシアのウクライナ侵攻や急激な円安が物価高をもたらすし、燃料や資機材の価格高騰、品薄などは、業界を取り巻く環境に大きな影響を与えました。

そうした中、近年、全国各地で発生している大規模な自然災害は、頻発・激甚化して

おり、豪雨・台風・寒波など、1年を通じて、ライフラインがいつ寸断してもおかしくない状況が人々の生活を脅かしています。地域社会の安全・安心な暮らしを支え、人々に「命の水」を届ける管工事業界といたしましては、「事前防災」を意識し、常備するこ

とが重要であると考えております。さて、管工事業におきましては、若手人材不足、担い手不足、後継者問題は、喫緊の課題となっております。2024年問題ともいわれる働き方改革関連法のひとつ「時間外労働の上限規制」が本年4

月から適用されます。労働時間の適正管理や建設キャリアアップシステムの加入促進、IoT、ICT建機の活用などが推進に努めてまいります。

結びに、会員企業のますますのご発展と皆様方のご健勝・ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新春御挨拶

協同組合長崎県鉄構工業会

理事長 岩永 洋尚



謹んで新年を言祝ぎ白し上げます。旧年中は、当組合の活動にご高配賜り、心よりの御

礼申し上げます。

令和6年を迎え、いよいよ2024年問題が顕在化する年となりました。働き方改革関連法の施行は運送業界だけの問題ではなく、業界界においても大きな影響を及ぼす事になります。勿論、運送業界と直接関わりのある工場への資材搬入・現場への製品搬出に大きな影響がでることは言

わすれがなです。業界に限りならず、残業時間の縛りが総労働時間を減少させ生産能力を損なう事は明白でありました。

現状を打破すべく、当組合としても存続をかけて様々な取り組みを行ってまいりま

は必須でございます。お客様から共存できるパートナーとして選ばれるため、私共組合員一人一人が自己研鑽を怠らず高品質化を目指し、組合として技術者の育成や講習会を開催し、品質管理能力の向上に努めて参ります。業界

に対し、関係先の皆様のご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

最後に、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

美しい長崎県づくり

長崎県ジオファイバー協会
長崎県ニューレスプ協会
会長 松本 英睦



新年あけましておめでとうございませう。

さて、昨年50年に一度、100年に一度などと称される豪雨災害のニュースをよく目にすることが増えて参りました。

昨年は幸い長崎県内において甚大な被害はなかったように思いますが過去に遡れば、昭和57年7月、長崎大水害が発生しました。また、令和2年7月の大村市豪雨災害では河川が氾濫し諫早市と大村市を結ぶ国道が寸断され甚大な災害となったことは記憶に新しいと思えます。

現在に至る土木技術の発展は、先人の方々が防災・減災に真摯に取り組む、地域社会を守ってきた賜物と感じております。

しかしながら、日本国土の約7割が森林を占め、長崎県においては約6割を占める森林です。ひとたび、線状降水帯が発生すれば、いつ甚大な災害が起きてもおかしくあり

ます。

ません。

当協会においては、この自然豊かな長崎をどう防災・減災していくか、どう「美しい長崎県づくり」に役立ていくかを協会員一同、技術向上と発展を念頭に活動しております。

安全で安心できる国土をつくり、動植物が育まれる豊かな自然環境を守る。そして、この時代の要請に応えるのが、当協会のジオファイバー工法です。

ジオファイバー工法は、県内問わず様々な自治体で採用されていますが、昨年は史跡である南島原市の原城跡や日野江城跡の復旧工事として施工させていただきました。

ニューレスプ工法は、既設モルタル吹付面をはり取りない補修・補強工法です。まさに「美しい長崎県づくり」とも言える工法だと自負しております。

本年は、「美しい長崎県づくり」をスローガンに協会員一同、一丸となり貢献できるよう邁進する所存でございます。

コロナという禍に耐え、乗り越えた3年を今こそ力に変えられる年だと観じます。結びに、皆様の更なる発展とご健勝を祈念申し上げます。

今年こそ女性部設立と活躍推進を期待!

長崎県電気工事業工業組合

理事長 小畑和男



新年明けましておめでとう
ございます。

皆様方にお揃いで健やかな
新年をお迎えになられたこと
とお慶び申し上げます。

旧年中は当組合の諸事業に
対しまして、格別なるご理解
とご協力を賜り、厚くお礼申
上げます。

昨年を振り返ってみます
と、コロナ禍で中止していた
技能競技大会を十一月に四年
ぶりに関係各位のご協力のも
と、第五十三回目を開催でき
た事であり、特に女性の選手
が十七年ぶりに出場して上位
入賞を勝ち取った姿は、まさ
に私共業界が推し進めている
女性の活躍推進の大きな第一
歩になりました。引き続き本
年も女性部設立と女性の活躍
推進を中心に、後継者の育成
や若手入職者の確保・各種講

習会等の実施と共に、青年部
に対する活動支援を強化して
いきますので、皆様方の引き
続きのご指導、ご鞭撻を賜り
ますようお願い申し上げます。

又、本年四月一日からは時
間外労働上限規制が施工さ
れ、法に適合した時間管理を
行つていかなければなりません。
このような時代を乗り切る
為には、発注者を始め建築
主体工事及び関係異業種との
連携をこれまで以上に緊密に
行わなければなりません。そ
のためにも今年はいよいよ一層、
行政機関を始め関係諸団体と
の連携を更に強化し情報交換
等を行い、ライフレインに関
連する組織として、県下6支
部、320社の組織力を最大
限に活かしていきたいと考え
ています。

結びになりますが、私ども
電気工事業界にとりましても
明るい年になる事を願い、併
せて本年が皆様にとりまして
も実り多い年となります事を
心から祈念申し上げて、年頭
のご挨拶と致します。

もう一つの仕事からつくる仕事へ

一般社団法人長崎県解体工事業協会

会長理事 池田正喜



新年あけましておめでとう
ございます。謹んでお慶びを
申し上げます。

さて、昨年は円安ドル高の
影響などから物価が高騰。私

たち解体業界も、燃料の高騰
はもちろん、解体工事用建設
機械や車両の本体価格の高騰
とともに、機械・車両の安全
対策・環境対策に要する費用
負担が大きくなるなど、厳し
い状況にあります。一方で、
ワールド・ベースボール・ク
ラシックはじめ、世界で活躍
する日本人アスリートの姿
は、私たちに明るい話題を提
供し、未来のある子供たちに
夢を与えてくれました。解体

業界としても、若者に夢を与
えられるよう、取り組みを進
めなければならぬと考えて
います。

高度成長期に建設された建
築物が更新時期を迎える中、
社会の要請である適切な解体
工事の担う業界として、まず
は会員の技術・技能向上を図
つていきます。この取り組みの
一環として、石綿関係法令の
改正に関連した大気汚染防止
法改正及び労働安全衛生法石
綿則の改正に伴う労働安全に
関する講習会を実施しまし
た。

また、2024年問題とし
て話題となっている働き方改
革の本格的なスタートに向
け、時間外労働の実態の把握

等についても労働基準監督署
を迎えての講習会を開催しま
した。協会としても、この業
界で働く人たちの生活の安定
や、若い人たちが入職したく
なるような環境整備に向け、
技能の伝承・人材育成はもち
ろん、SDGsの目標達成に
向けた取り組みに尽力してい
く方針です。

現在、社会問題化している
空き家対策についても、佐世
保市との間に佐世保市空家等
対策の推進に関する協定を締
結し、市民が安心して任せら
れる体制整備に向け準備して
いるところです。ここでは、
建物を全壊するのではなく、
思い出が詰まった部分を残し
ながら、老朽化・陳腐化した

部分を更新して快適に暮らせ
る空間を再生するモデルづく
りを目指します。
長崎市や佐世保市に多数存
在する斜面地の空家を、解体
に拘わらず活用して住みやす
い居場所を作ること、地域
全体の活性化に繋げ、若い人
が長崎に来たくなる・住みた
くなる取り組みを進めるな
ど、もう一つ仕事からつくる
仕事”を実現していきたいと
考えています。

結びに、本年が皆様にとり
まして素晴らしい年になるこ
とを祈念いたしまして、新年
の挨拶とさせていただきます。

企業脱皮の一年に

一般社団法人長崎県空調衛生設備業協会

会長 曾和輝正



新年を迎え謹んでご挨拶申
上げます。
昨夏の工事現場では連日の

35℃を超す猛暑、そして短い
秋が終わり、慌ただしい中で
正月を迎えました。
世界のおちこちでは紛争が
続いており、国と国との対立
も一段と激しくなってきたよ
うに感じます。
そうした状況の中、昨今の
製造業、非製造業は共に円安
の影響もあり、前年を大きく
上回る純利益を出しており、

景気の先行きにはいろいろと
不透明な要因が多いと言いな
がらも、とりあえず上昇気流
に乗った状況です。
しかし、私たちの空調設備
業は、国のデフレからの脱却
も道半ばの中、「働き方改革」
はついに目前に迫ってきました。
我々は、それに十分な解
決策をもって向かうことが出
来ているのでしょうか。
答えは「No」です。
「なつてみなければわから
ん」「そんな時はそんなたい
」これが大部分の企業の本音で
す。
その通りだと私も思いま
す。

「働き方改革」を成し遂げ
るには、継続的に十分な利益
を出し、余裕ある人員を揃え
ていることが必要だからで
す。そして、そのどちらも簡
単なことではありません。
しかし、一縷の望みがある
とすれば、今、日本全国で建
設投資がラッシュ状態にある
という事です。このチャン
スに、それぞれの企業が古い
体質から脱却できるかどうか
に懸かっているのではないで
しょうか。
今年是我々にとって、企業
の発展的な存続をかけた一年
になると覚悟しなければなら
ないと思います。

全ての企業が世の中に合っ
た形では生き残れない、淘汰
の時代に入りました。このこ
とが、ある面ではマンネリ化
した建設業の体質が大変革を
起こす始まりになると感じて
います。
この勝負の一年を業界の皆
様と知恵を出し合い前に進ん
で行きたいと思っております。
本々が皆様にとりまして、
大きな進歩の年になります事
を祈念申し上げ新年の挨拶と
いたします。

仕事確保と若年技能者育成に全力 魅力ある建設産業の構築目指す

一般社団法人 長崎県中小建設業協会
会長 北村 政和



2024年、明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行し経済活動が好転するかと思われましたが、ロシアのウクライナ侵攻に加えイスラエルとハマスの紛争が勃発し国際情勢の不安感が高まる中、急激な円安なども相まって物価や資材価格の高騰が続く、国民生活や経済活動に先行き不透明感を来しております。加えて、地球温暖化に伴う異常気象の影響で自然災害は

ますます激甚化、頻発化する傾向にあり、内外ともに様々な課題に直面した一年でした。

このわけ、建設業界においては、工事発注量の地域間格差や大手企業と中小企業の企業間格差の顕在化、建設技能者の高齢化や担い手不足など、依然として厳しい経営環境におかれています。特に、建設技能者は数年後には団塊世代の大量離職が見込まれる一方、若年入職者は減少し定着率も低い傾向が続いており、このままでは技術や技能の継承がなくなることが危惧されています。

私共、建設産業に携わる者が、地域の守り手として社会的資本の整備を着実に推進する

ためには、担い手不足の課題解決が不可欠であり、今年4月からの時間外労働の上限規制適用への対応をはじめ、適切な賃金水準の確保、「週休2日制の導入」、「ICT・DXへの取組み」など、若者の就業に繋げられるような労働条件の整備に業界を挙げて取り組んでいく必要があります。

また、本県においては、西九州新幹線開業に伴う新駅周辺の街づくりの続き、長崎ス・タジアムシティプロジェクトや県南振興局新庁舎整備などの大型事業が進められておりますが、その後の反動減も懸念されるため、波及効果を最大化し、新年のご挨拶といたしまして、継続的な仕事確保対策

が望まれるところで。私達、中小建設業協会は、地域のインフラ整備、住宅建築・リフォーム、災害対応など地域を支える役割を担っています。このため、県や市町に對して引き続き住宅リフォーム事業や小規模事業予算の拡充をお願いするなど、今後とも中小建設業者の仕事確保と若年技能者の育成に積極的に取り組み、関係機関・団体のご支援を賜りながら、魅力ある建設産業の構築に努めてまいります。

持続可能な社会に向けて

一般社団法人 日本造園建設業協会長崎県支部
支部長 松田 英明



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては令

和6年のお正月を穏やかに過ごしたおこととお慶び申し上げます。昨年はロシアのウクライナ侵攻に続きイスラエル問題が発生し、世界的な物価高騰、更に急激な円安なども相まって建設業界においても建設資材の価格高騰、運搬費の上昇など様々な課題に直面した1年でありました。本県におい

ては100年に一度のまちづくりにより長崎駅周辺の再開発、今年完成する長崎スタジアムシティは、新たな長崎のランドマークとなり観光地長崎の起爆剤になることを期待しているところであります。本年、(一社)日本造園建設業協会が取り組むべき課題は多岐にわたります。激甚化・頻発する大規模自然災害に備えた防災・減災に資する取り組み、担い手の確保・育成の推進を図るための建設キャリアアップシステムへの対応、安全衛生対策推進のための墜落防止器具等の普及促進、本年度から建設業界へも適用さ

れることとなる時間外労働の上限規制などにも適切に対応していかねばなりません。また、資格制度の更なる充実のため、2023年度創設された「緑地樹木剪定士」資格の運用の他、SDGs・力の推進といたした社会的課題に加え、今後、本格的に影響が出てくることと想定される原価の上昇対策にも取り組んで行く必要があります。

このような多くの課題への対応は簡単には得るものではありません。協会として、

5段構えで人材確保に取り組み

長崎県鉄筋工事業協同組合
理事長 平本 大介



新年、明けましておめでとうございます。皆様にはお健やかに新年をお迎えになりましたこと、心よりお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行し、行動制限がなくなり、長崎では、100年に一度の変革期”の中、経済活動が一層活発化しました。これに国土強靱化対策が加わり、建設投資も積極的に進められていますが、建設業界では、国際情勢の影響などによる燃料・資材の高騰だけでなく、人手不足や、時間外労働の上限規制適用など、多くの課題に直面しています。

当組合も昨年は特に、「人手不足」の解消に関連し「外国人労働者」や「働き方改革」の問題など、今現在も難しい課題を抱えています。業界のイメージ、給料や休暇、安全衛生、経営体制の強化、他産業との競争など、依然として問題は山積です。

このような中、私たちは鉄

筋工の専門業者として、「やりがい」「誇り」「達成感」を伝えるために、県内工業高校生への実技指導を17年に渡り行っております。特に鉄筋技能3級検定が導入され、県内工業高校生が受験可能となり、120数名が既に合格しました。卒業後の県内就職への一助となるよう指導・育成して参りました。

また、本年も人材確保・育成が大きなテーマとなり、施工法が変わっても「仕事は職人の技」であり、時代の変化に即応する必要性を感じております。新卒者・高齢者・女性・外国人技能実習生・働き方改革の5段構えで人材確保に取り組みして参ります。

日本の最西端に位置する長崎県におきましては、若手担い手の確保の問題など解決には「道遠し」と感じられるところではございますが、地方創生の進展や業界全体の発展と諸課題の解決に向け、改めて一つの課題に真摯に向き合い組合員一丸となって本年も山積みの問題解決に向け前進して参りたいと考えております。

終わりに、本年が皆様方になりますことを心からご祈念申し上げて年頭の挨拶と致します。

「塗装で社会に貢献していく」 日塗装75年歴史を受け継ぎ未来へ

一般社団法人 日本塗装工業会 長崎県支部

支部長 出端隆治



新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。平素より関係各位の皆様方には、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

と新型コロナウイルス感染症が5類へ移行され、徐々にコロナ禍前の生活を取り戻してきてまいりましたが、我々を取り巻く環境は、世界各所で情勢危機や、長引く円安等の影響を受け、物価の高騰がもろに社会経済活動に影響を与えた一年であったと思えます。資材・燃料の高騰と慢性的な人手不足は、この先も我々が抱える課題であり、この様な状況を打破する具体的な対策は講じられず、厳しい工

事価格での受注や工事受注の取りやめなど、一層の経営努力が求められる一年となりました。私共、日本塗装工業会では昨年75周年の節目を迎え、これまでの、塗装工事業者の技術・技能の研鑽、職場の安全推進や環境への配慮、企業経営の進歩改善等に取り組みを進めてまいりました。これも偏に、関係各位の皆様方のご指導、ご鞭撻のおかげと心より感謝申し上げます。現在、「我が国唯一、47都道府県に支部を持つ全国組織」としての『責任と誇り』を自覚し、『伝統と改革の精神』のもと、社会のニーズを的確にとらえた諸施策を推進し、もって業界の持続的な発展と豊かな国づくりに貢献する」の基本方針

のもと、6つの重点施策を掲げ全国約2300社の英知を集結し塗装工事で社会に貢献していく所存です。全体事業ではCCUSの普及・促進に係る諸課題への対応等を行うほか、登録建設塗装基幹技能者認定講習会の実施や国土交通大臣登録住宅リフォーム事業者団体として消費者保護や会員の資質向上に資する事業を展開してまいります。また、塗装業界での女性活躍推進を目的に「けんせつ女子ビューティーセミナー」を各地で開催してまいります。また、重点事業のペインテナンス「戸建て住宅リフォームサービス」ペインテナンスキャンペーンは今年で25回目を迎えることとなりました。日本塗装工業会が品質保証書を発行する我々にしかない事業でもあり積極的に推進してまいります。

継承されてゆく技術と信頼 共に発展し、人々の幸福を目指し未来に貢献します

長崎県型粋工事業協同組合

代表理事 松谷忠雄



新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新年をお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。コンピューターを使わずに人間の目で図面との誤差を±3ミに収めること、それが型粋工事の重要な仕事です。社

会情勢がめまぐるしく揺れ動く現代の中で、私共、型粋組合の組合員たちはその魅力をもっと前に前に進んで参りました。人の手が変わるものはないという思いは型粋を担う者の信念です。しかしながら時代の流れを柔軟に受け入れる能力も大切な仕事のひとつであると思います。

ICT技術の推進及び、DX導入推進等明るい未来が待っているように魅力的です。但し、中小企業である私共にとって人手不足問題の解消につながるのだろうか。担い

手確保、働き方改革、週休2日制の実行などに役立てられるのであるか、それに伴う設備投資の資金はどうしたら良いのだろうか、課題が多いところがございます。型粋工事に従事する者たちとして型粋職人を志す者たちが明るく笑って生活を送れるように。それが大きな願いです。あり、只々前を向いて努力を続けていくのみです。当組合ではその様な匠の職人を育てる為、昨年は登録基幹技能者更新講習会開催の協賛を長崎

講習会を終え、関心の高さを感じた次第です。又、毎年行われる型粋技能検定1級・2級・3級試験の受検者に対し、受検の為の講習会を開催し、人材育成、キャリアアップのお手伝いを行っております。本年も人材確保及び育成が重要かつ困難なテーマとなります。厳しい状況下ではございますが、施工方法が変わっても私達の腕は必要であるとの信念を持ち続け、時代の変化に即応する型粋組合でありたいと感じております。

今後とも関係機関・団体のご支援を賜りながら組合員一同、一丸となって前進して参りたいと考えております。結びに本年が皆様にとりまして輝かしい実り多き一年となりますことを心からご祈念申し上げます、新年のあいさつとさせていただきます。

創立30年 業界に必要とされ、信頼され、価値ある組織に

公益財団法人長崎県建設技術研究センター

理事長 藤田 雅雄



新年あけましておめでとう
ございます。皆様方におかれ
ましては、新春を晴々しい気
持ちでお迎えのこととお慶び
申し上げます。

当センターは、良質な社会
資本の整備と維持管理への支
援を通じて、長崎県内におけ
る建設事業の振興発展に寄与
することを目的に設立された
公益財団法人であります。本
年十月には設立三十周年を迎
えることになりました。これ
もひとえに皆様方のご支援の
賜物であります。

当センターが設立された三
十年前と比べ昨今の建設業界
を取り巻く環境は大きく変化
しています。当時は各業界と
も第二次ベビーブームの若者
で溢れていましたが、その後
の少子高齢化の進行により、
人材不足が問題となっていま
す。また、地球温暖化による
異常気象やインフラ施設の老
朽化問題など、当時はなかつ
た新たな喫緊の課題が生じて
います。

一方、インターネットやパ
ソコン、ロボットやAIを活
用した技術革新が進み、業務
そのものや働き方について
も、工事写真はフィルムから
データへ、図面は2次元から
3次元へ、働き方は3K（き
つい、汚い、危険）から新3
K（給与、休暇、希望）へと
大きく変わってきています。

当センターではこれまで、
積算や品質検査などの発注者
支援を主要事業としつつ、そ
れぞれの時代に応じた事業や
研修、研究などに取り組み
まいりました。現在は、3次
元点群データ、オープンナガ
サキの管理運営や共同利用
プラットフォームの運用、イ
ンフラ点検での新技術の活用
など、行政や業界だけでは着
手困難な課題への支援を行っ
ています。

本年も引き続き長崎県内の
建設事業にかかる課題の解消
に向けた事業に取り組み、行
政や建設業界にとつて常に必
要な組織、信頼される組織、
価値ある組織であり続けるこ
とを目指してまいります。
で、今後ともご協力を賜りま
すようお願い申し上げます。
本年が皆様方にとりまして
素晴らしい年となりますよう
お祈り申し上げます、新年のご
挨拶といたします。

建設業界を徹底サポート

日建学院長崎校・佐世保校

事務局長 久芝 洋平



新年あけましておめでとう
ございます。謹んで新春のお
喜び申し上げます。

弊社、建築資料研究社は、
建築専門書の出版社として創
業し、建設・不動産関連資格
取得の講習機関「日建学院」
を中心に、現在全国113校
（直営校）を構えております。

長年の経験に基づく合格メソ
ッドで受講生の夢を応援し、
創立55周年を迎える事が出来
ました。これも偏に関係各所
のご支援、ご協力の賜物と深
く感謝すると共に、改めまし
て御礼申し上げます。

少子高齢化に伴う建設産業
界の労働力人口の減少が進む
中、限りある人材の有効活用
を図りつつ、将来にわたる中
長期的な担い手の確保及び育
成を図ることが急務となつて
います。他業種への人材流出
を防ぐためにも労働環境の向
上、働き方改革、ICT化に
よる作業の効率化などが求め
られています。

日建学院の使命と責務もさら
に重みを増すことと胸に刻ん
でいます。
次期業界を背負って立つ人
材の育成、専門資料及びコン
ピュータの業界への普及、建
設産業界への支援を経営理念
に掲げ、今後も引き続き資格
取得支援と建築出版及び、I
Tソリューションを三つの柱
としに、業界の発展に微力な
がら貢献していく所存です。
最後になりますが、本年が
皆様におきまして素晴らしい
一年となりますよう、心から
祈念いたしまして、年頭のご
挨拶とさせていただきます。

人材育成を通じて建設業界に貢献

総合資格学院長崎校

学校長 上野 健二



新年あけましておめでとう
ございます。

皆様におかれましては健や
かに新年をお迎えになられま

したこととお慶び申し上げま
す。

平素より総合資格学院に対
しまして格別のご高配を賜
り、厚く御礼申し上げます。

昨年は全国で猛威を振るつ
た新型コロナウイルスの分類
が5類に移行し、人々の行動
制限が緩和され、人流が戻っ
てきたことで国内景気は回復
傾向にあります。

長崎県におきましても、情

緒溢れる街並みや歴史的建築
物と、新たに建設されている
魅力的な建築物との融合によ
り、今後ますます進展してい
くことが予想されます。

しかしながら、依然として
「技術者不足」の問題が解消
されるまでには至っておりま
せん。

近年は建築士法、建設業法
の改正により受験資格が緩和
され、多くの人材が資格試験
にチャレンジできるようにな
りました。

他なりません。私も総合資
格学院におきましては、資格
指導校としての技術者育成の
役割を担う上で、受験者の増
加に伴いその責任が増してゆ
くものと存じます。

一方、技術者自身へは実務
的な能力は当然として、倫理
面における高い資質の向上が
求められております。これは
社会全体から建設業界に対
し、今まで以上の信頼性を求
める声が高まっているからに

この度合格発表を迎えまし
た令和5年度一級建築士設計
製図試験の実績といたしまし
ては、長崎県合格者数18名の
うち11名が当学院受講生（合
格者占有率61.1%）、学科
・製図試験ストレート合格者
数4名のうち3名が当学院受
講生（ストレート合格者占有
率75%）と、多くの合格者を
出すことができました。一級
建築士試験におきましては長
崎県に教室を開校して9年に
なりますが、開校以来連続し
て長崎県合格実績No.1を達成

することが出来ております。
これも受講生一人ひとりの目
線に立った「真の個別指導」
の成果であると自負いたして
おります。

これからも「建設技術者の
育成を通じて、多くの人々が
安心・安全に暮らせる社会の
実現に貢献する」という理念
のもと、当学院のこれまでの
実績に甘んじることなく、常
に改善を心掛け、長崎県建設
業界の発展に尽力して参る所
存でございます。

未筆ではございますが、本
年が皆様にとりまして実り多
い一年となりますようお祈り
申し上げます、新年の御挨拶と
させていただきます。

長崎県におきましても、情

長崎県におきましても、情

長崎県におきましても、情